

単元を通した授業づくり

授業チェックポイント
(授業構成の手順)

単元の目標 (例):
積極的に～する。【観点1】 ～できる。【観点2】
～理解する。【観点3】 ～を身に付ける。【観点4】

第1時

①本時の目標
～できる。【観点2】

④導入

③めあて

⑤目標達成のための活動
(主体的・対話的で深い学び)

- ・学習意欲の喚起
- ・思考力・判断力・表現力等の育成
- ・基礎的な知識・技能の習得

2 (本時)

評価と支援 (例)
A 評価：□□がなくても～できる。
B 評価：□□があれば～できる。
B 評価に達していない児童生徒への手立て：
机間指導で○○を用いて□□の使い方を指導する。

②⑥まとめと振り返り (子供のことばで)
全体で学習のまとめ
「～できた。」「～がわかった。」など
個人で振り返り
「◇◇したら、……に役立った。
△△の時にもつかってみたい。」など

⑦見届け ～できるようになったか。
※授業後になることもあります。

⑧評価

⑨次時の目標の確認と修正

第3時

第4時

単元の見届け
該当する単元に関する過去の調査問題等で目標が達成されたかの定着の確認

単元のゴール (例):
積極的に～していた!【観点1】 ～できた!【観点2】
～理解していた!【観点3】 ～を身に付けた!【観点4】

